

# NICIA

IKKO CITY INTERNATIONAL ASSOCIATION



ラピッド市とのオンライン交流会  
Sister City Virtual Exchange 2021

**MARCH, 2022**  
**No. 29**

ラピッド市とのオンライン交流会  
日本語教室  
宇都宮大学連携事業「日光の再発見」  
令和3年度事業報告  
Hello!



日光市の新しい国際交流員  
ポーセン・ミシエルさん



# ラピッド市との Rapid-Nikko Sister Cities

新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度から中止となっている中高生の夏期交流事業。交流の火を消さないよう、姉妹都市締結以降初めてオンラインでの交流会を開催しました。交流会では栃木県立今市高等学校の生徒とラピッド市の参加者が、英語でお互いの学校について紹介したり、折り紙を教え合ったりしました。また2日目の最後には、浴衣姿の生徒たちが日光和楽踊りを披露し、笑顔が絶えない2日間となりました。



## 交流会 1 日目 (8月3日)

両市の参加者たちが画面上で初対面！  
オンラインでの交流や外国人と話すことが初めて、仲良くなれるかな？ちゃんとコミュニケーション取れるかな？etc… ドキドキ・ワクワクの参加者たち。全員が自己紹介した後、アイスブレイキングとして“イラストしりとり”を行い、少しずつ緊張がほぐれたように見えました。

前半、まずは今市高校の生徒が「日本・日光について」「ポップカルチャー」「高校生活」について紹介しました。クイズ形式で紹介したり、日光仮面の登場に会場はもちろん、画面越しでも大盛り上がり！  
ラピッド市の高校生2名もそれぞれ自分の高校を紹介してくださり、参加者たちは日本とアメリカの高校の違いを知ることができました。



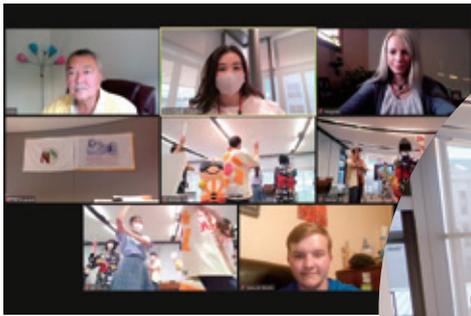
後半はブレイクアウトルーム機能を使って折り紙ワークショップを行いました。代表的な日本文化の一つ「折り紙」は、ラピッド市の皆さんにも大変馴染み深いようです。  
今市高校の生徒たちの説明を真剣な表情で聞いており、見事完成した時は画面上に満面の笑顔が見られました。

# オンライン交流会

## Virtual Exchange 2021

### 交流会2日目 (8月10日)

まずはアイスブレイキングとしてBINGOを行いました。参加者の皆さんは積極的に英語や日本語でお互いの趣味や好きな食べ物などについて質問しており、より一層仲良くなりました★ また、ラピッド市の高校生サムさんが丈夫な紙飛行機の折り方を教えてください、出来上がったら誰が1番遠くに飛ぶか勝負もしました。



交流会の締めくくりとして浴衣や法被姿の生徒らが輪になって日光和楽踊りを披露すると、画面越しに笑顔が広がりました😊



2日間という短い時間でしたが、新しい形での交流を実現でき嬉しく思います。今回の参加者たちがいつかどこかで、リアルに再会できるといいですね！そして、以前のようにお互いが行き来できる日が1日も早く戻ってくることを願って・・・



### ラピッド市日光市国際交流協会 メーガン会長よりメッセージが届きました！

私たちは愛する日光市と初めてバーチャル交流を行いました。この交流を通じて、生徒たちはお互いに折り紙を教え合ったり、文化の違いについて話し合ったり、日光の生徒たちによる特別な踊りを実際に見ることができました！姉妹都市として団結する私たちの『受容・理解・平和』といった目標を反映するかのよう、私たち若い世代の異文化への受容性を表現する方法で、お互いに興味を持ち、広い心で接していました。このような機会に関わることができ、本当に光栄に思います。今後は、直接的な交流に参加できない人々のためにバーチャル要素を盛り込んだり、また実際に旅行できる人々のために両市の紹介の役割を果たしたりすることができればと考えています。私はこのバーチャル交流を拡大し、共に成長し続けられることを大変嬉しく思います。バーチャル交流が将来の学生にとって文化交流をより身近なものにし、国境を越えた友情を強めてくれることに期待しています。今市高校の生徒の皆さん、事務局の皆さん、今回も素晴らしい経験をありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

# ★栃木県立今市高等学校参加生徒のコメント★



オンライン交流会に参加された生徒9名が何を感じたのか、どのように成長をしたのか、ということに焦点を当て、生徒たちの生の声を皆さんに紹介したいと思います。



▶僕は、交流をする前は「相手が話しにくい人だったらどうしよう」「自分の英語が伝わらなかったらどうしよう」と不安な感情ばかりありました。しかし、実際に交流をしてみると、相手の方も僕たちの伝えたいことを受け取ってくれて、何度もつまづく場面はあったものの、どうにか工夫して乗り越えることができました。この貴重な経験を通して、今後もより多くより広くの人々と交流をしていきたいと思いました。(1年 池田 涼磨)

▶ラピッド市とのオンライン交流をしてみて、わかったことがあります。それは、我々日本人は完璧を求めすぎているということです。「失敗したらどうしよう」と考えているために、なかなか踏み出せずにいるのです。しかし、僕は「たまには大胆に」を心がけたいと思います。(1年 稲葉 琉磨)

▶私は初日しか行けませんでした。英語で話して伝えることの大切さを身につけました。うまく伝わらない時もありましたが、伝わった時の嬉しさは倍でした。今回はオンライン交流でしたが、来年は対面ができると良いと思います。(2年 加藤 嶺果)



▶今回のラピッド市とのオンライン交流会は、今までに習った英語を生かすことができたとても良い機会でした。普段外国の人と話す機会があまりないので難しいと感じた時もありましたが、自分の知っている英語や、表情、ジェスチャーなどを通してたくさん会話ができて楽しかったです。(2年 木村 理夢)



▶私は今回の交流会に対して、楽しみという気持ちに加え、私の不器用な英語で相手の方々を困らせたりしないだろうかと不安もありました。しかし、いざ始めると、パソコン越しでも伝わる温かく優しい空気に緊張も徐々にとけ、楽しくお互いの地域のことや知りたいことを話すことが出来ました。ずっと思い出に残るとても貴重な時間を過ごすことができました。

(2年 福田 結菜)

▶8月の夏休みに初めてラピッド市とリモートでの交流会をして、全部が初めての事だったので少し大変な部分もありましたが、とても思い出深い楽しい交流ができました。私は英語が好きで、将来も英語に関する仕事に就きたいと考えています。なので、今回体験した事や学んだ事をこれからの将来に活かしていけたらいいと思います。(2年 松島 湖水)

▶一緒に折り紙をつくれたりクイズを出し合ったりしてコミュニケーションをとり、英語力の上達、双方の文化についての再発見をすることができました。特に、2日目に浴衣を着て日光和楽踊りを踊り、オンラインを逆手にとったイベントでラピッド市の方たちの印象に残る交流会にできたことがとても良かったです。(3年 大塚 絢)

▶私自身オンラインで交流をするのが初めてだったため、最初はとても緊張しました。しかし、アイスブレイクなどを行っていくうちに緊張もほぐれ、有意義な時間を過ごすことができました。日本文化や今市高校について友達と協力して準備した時間も含めて、貴重な経験になりました。(3年 柴田 美優)

▶私は今まで外国人と直接会話し交流するという機会がありませんでした。今回オンライン交流という形でお互いの文化を教え合うという活動は刺激的で、自分の目で見て感じることは大切だと思いました。また、活動を通して非言語コミュニケーションの大切さも学ぶことができました。改めて、将来多くの外国人が訪れる日光で外国人を手助けする仕事に携わりたいと思いました。(3年 関 日奈乃)



定期的にやっています！

# 日本語教室

当協会では、ボランティアによる在住外国人向けの日本語教室を開催しています。アメリカ、アルゼンチン、カナダ、ジャマイカ、フィリピン、ベトナムなど様々な国出身の日本語学習者がボランティア教師さんと一緒に楽しく、熱心に学んでいます。詳細は随時ホームページで更新しております。



(日本語教室 HP)



日本語能力試験  
N3合格おめでとう！

日本語教室の生徒、アルゼンチン出身のデボラ・アヴァレさんが昨年12月に受けた日本語能力試験N3に無事合格しました。おめでとうございます！

## Q1. N3に受かった今の気持ちは？

ちょっと驚きましたが、すごくうれしいです。  
日本人の会話を聞いて分かってくると、いろいろな日本人がいることがわかり、面白いです。

## Q2. デボラさんにとって、日本語教室はどんなところ？

先生たちはやさしいし、いろいろなことを教えてくれました。  
学生が少ないこともあります、日本の文化を学び、経験を交換することができます。

## Q3. 今後の目標は？

N3に合格したことで、ますます勉強する意欲がわきました。自信もつきました。  
これからも勉強を続けて、次回N2合格を目指します！



## 日本語教師ボランティアとして活動してみませんか？

日本語教室にて日本語を教えていただけるボランティアを募集しています。

資格・経験は問いません。教室の見学も随時受け付けております。  
ご希望の方、ご興味ある方は事務局までお気軽にお問合せください。  
(\*裏表紙“ボランティア登録について”も併せてご参照ください)



# 宇都宮大学連携事業～国際交流都市日光の再発見～

## 「奥日光の自然を活かした観光地づくりを留学生と考える」

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターと日光市国際交流協会は、2016年から連携事業として、「日光の再発見」をテーマに、市内各地域をフィールドにして課題解決に取り組んできました。今年度は奥日光エリアをフィールドに、学生目線で課題について考え、シンポジウム形式での提案を行いました。



### 11/13(土) フィールドワーク

はじめに自然博物館を訪れ、オリエンテーションを行いました。プロジェクトについての説明を受けた後、3つのグループに分かれて自己紹介や目標設定をしました。

#### 湯ノ湖エリア

シカの食害や、水質汚染の原因となっているコカナダモについて実際の現場を見ながら説明してもらいました。豊かな自然を守りながら、より魅力ある観光地とするためにどうすべきなのか、シンポジウムに向けて考えます。



はじめて見る  
野生のシカに大興奮!



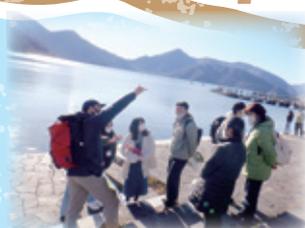
#### 戦場ヶ原エリア

木道を歩きながら、戦場ヶ原の成り立ちについてガイドさんに教えてもらいました。若い世代の観光客が少なかったことから、若者向けにソーシャルメディアでの発信や、イベント創設等のアイデアを出し合っていました。



#### 中禅寺湖エリア

自然博物館を見学した後、華厳ノ滝へ移動し観光客へアンケート調査を行いました。アンケートの際には協会の参加者が学生をサポートする場面も見られ、良い交流の場となりました。留学生たちは中禅寺湖周辺の綺麗な景色に感動していました。





### Aグループリーダー（ヤン・ハンさん / 中国出身）

奥日光の自然に詳しいガイドの森田さんの案内で、同じ宇都宮大学の学生や日光市の方々と共に中禅寺湖周辺を巡りました。美しい自然を満喫しながら、グループの皆と一緒に持続可能な観光地づくりについて考え、このような美しい景色を将来の世代に引き継いでいくことは、今を生きる私たちにとって、重要な責務であると感じました。綺麗な景色を堪能することができ、学ぶことも多く、とても貴重な経験ができました。コロナが落ち着いたら、ぜひまた日光へ観光に行きたいと思います。



### Bグループリーダー（バツヘ・ウメビレグさん / モンゴル出身）

フィールドワークの11月は少し肌寒い季節でしたが、戦場ヶ原の木道を歩いていると、自然の美しさを実感しました。また、季節ごとに違った表情が見られると聞き、再び訪れたいと思いました。この自然をどのようにして守っていくか考えましたが、この場所に来て肌で感じた人はきっと、この場所を大切にすることは必ずだと思います。これからは、この素晴らしい自然を一人で楽しむだけでなく、母国の友人らにもシェアして、より多くの人に、奥日光の自然の魅力を紹介したいと思います。



### Cグループリーダー（ノピラ・ピッシャパーさん / タイ出身）

私は、これまでも観光で日光に行ったことがありますが、フィールドワークに参加したのは、今回が初めてです。以前日光を訪れたとき、ゴミ一つなく綺麗で、きちんと管理されている印象を受けました。日光の豊かな自然を守りながら、より良くするために、私たち学生や、日光市に住んでいる人たちが集まって協力するこのプロジェクトは大変有意義で、とても勉強になりました。私は帰国した後、母国でも今回のようなプロジェクトを行いたいと思います。

現地を案内してくれたネイチャーガイドの皆さん



**森田 孝道さん**  
日光自然ガイド協議会  
日光自然博物館自然解説員



**金谷 武尊さん**  
日光自然ガイド協議会  
奥日光ゲストハウスJUN



**安倍 輝行さん**  
日光自然ガイド協議会  
奥日光小西ホテルネイチャーガイド

## 12/5(日) シンポジウム

昨年に引き続き、今年もオンラインでのシンポジウム開催となりました。基調講演として、宇都宮大学の久保教授、日光自然ガイド協議会の森田さん、スウェーデン出身の研究者バーナデットさん、カールさんより、奥日光の自然環境や持続可能な観光についてのお話をいただきました。

学生の発表では、3つのグループごとにまとめた内容をプレゼンテーションで発表しました。脱炭素観光地を目指すための交通対策やSNSでの発信、魅力あるイベントの実施などの提案がありました。実施後のアンケート調査においては、「興味深い内容であった」、「勉強になった」等の好意的な意見が多く、参加者の満足度の高さを感じました。また、オンラインでの開催にも関わらず、多くの方の参加があり、本テーマに関する興味関心が高いことが伺えました。



# 事業報告 (2021年4月~2022年3月)

令和3年度に各部会が開催した事業について報告します。

5/12  
(水)

## 総会

@日光市役所

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で書面決議となったため、約2年ぶりの対面での総会となりました。前年度の事業報告、今年度の事業計画と予算について話し合わせ、無事に終了しました。



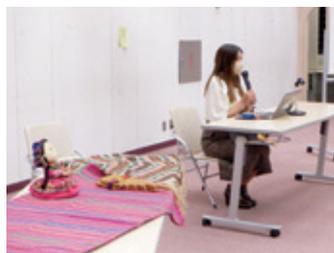
10/16  
(土)

## 体を動かして異文化

@中央公民館

ペルー出身のアギーレさん一家を講師に招きました。スライドを活用したペルーの文化紹介やサルサダンスの体験を行いました。

文化紹介では、日本との比較や歴史的関係性を盛り込んで説明して下さったので、理解がしやすく、参加者も新たな発見があったようです。質疑応答の際は、スライドの内容以外についても様々な質問が飛び交う双方向な紹介となりました。



12/18  
(土)

## クリスマスパーティ2021

@大沢公民館

今回は、アメリカ出身の日光市CIR、ポーセン・ミシェルさんに“アメリカのクリスマス”についてお話いただきました。

クリスマスツリーの飾り方やクリスマスクッキーに代表される様々な食べ物について画像いっぱいのスライドでご説明いただきました。お話の後、開くと立体的になるデザインのクリスマスカードを作りました。参加者は様々なデコレーションで自分だけのカードを作りました。

その後、ゲストに当協会会員の星一さんをお招きし、マジックショーを行いました。参加者は、本当に種も仕掛けもないのか!?と前のめりにショーを楽しんでいました。



ショーの後には恒例のプレゼント交換を行い、皆で一足早いクリスマスを楽しみました。最後はサンタクロースとトナカイが登場し、子どもたちにプレゼントが配られました。



## 理解！

ダンスは基本のステップから教えていただきました。その後、少しテンポが早い音楽に変え、より実践的なダンスに取り組むことができました。講師から、音楽に合わせて気軽に取り組むのが一番とコメントもあり、参加者は思い思いの動きで楽しんでいました。



2/13  
(日)

## 多文化共生セミナー

(オンライン開催)

留学生や外国人定住者への日本語教育の場でご活躍されている牧原紀子さんを講師に迎え「多文化共生セミナー～外国人とともに暮らしていくために～」を実施しました。

初めに、日光市で暮らす外国人定住者の現状についてご説明いただいた後、事例をもとに、このような場合どのように接するか？、コミュニケーションの方法等についてグループに分かれて考えました。後半は、「やさしい日本語」を紹介していただき、言葉の書き換え・言い換えをすることで、分かりやすく伝えるコツを教えてくださいました。適宜グループワークなどを活用しながら、オンラインでも全員参加型の実りあるセミナーとなりました。



9～11月  
毎週火曜

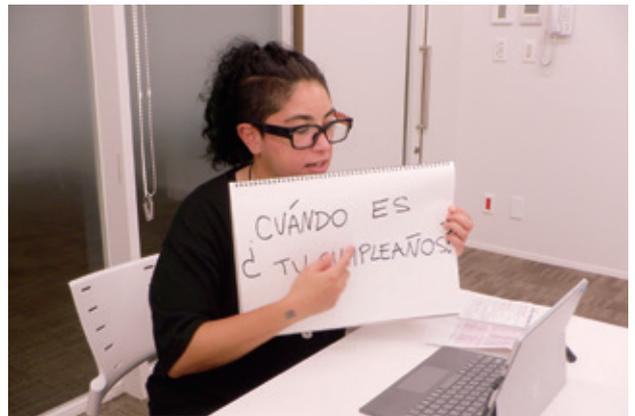
## スペイン語講座 初級

@日光市役所

昨年に引き続き、アルゼンチン出身のデボラ・アヴァレさんによるスペイン語講座を実施しました。昨年は全4回で実施しましたが、4回では物足りないとの声もあり、今年は全8回での実施となりました。

コロナウイルスの影響で、前半5回はオンラインでの開催となりましたが、画面越しでも積極的に発音する参加者の声が聞こえてきました。後半はようやく対面での授業が実現し、参加者はそれまで習った言葉を使って楽しそうに講師とコミュニケーションをとっていました。

アルファベットや発音、文法などの基本的なところから始まり、最後には旅行の際に使える実践的な会話まで教えてもらい、コロナが明けたら覚えたスペイン語を使って旅行に行きたい！という声も聞こえてきました。



# Hello!

日光市役所観光課でポーセン・ミシェル  
ポーセンさんの母国語は英語ですが、  
ポーセンさんが自己紹介とアメリカの

皆様こんにちは！

アメリカ出身のポーセンと申します！コロナの影響で来日が1年遅れてしまい大変でしたが、神様のおかげでついに来日できました。

私は幼い頃からずっと外国語に興味を持っていたので、高校生になってから自主的にスペイン語の授業を受講し、すべてのカリキュラムを修了しました！



高校を卒業した後、最初はスペイン語の先生になろうと思っていましたが、日本人の家庭教師と一緒に日本語を勉強していくうちに、日本語にもっと興味を持ちました！しかし、アメリカのほとんどの大学で日本語は、主専攻ではなく副専攻としてのみ用意されています。よって、日本語は引き続き家庭教師と勉強しながら、スペイン語の翻訳の学位を取得しました。

大学を卒業した後、スペイン語と英語の通訳として病院で勤務しました。医師や看護師でさえ少しのスペイン語を知っていたことに驚きました！アメリカでは病院、診療所、空港などあちらこちらに、スペイン語で書かれている看板があります。スペイン語と英語の通訳者としての挑戦の一つは、スペイン語には国ごとに違う方言がたくさんあることです！

メキシコのスペイン語だけでなく、プエルトリコ、コスタリカ、チリ、コロンビア、キューバなど、全く違う語彙を持っていて、大きく異なる方言があります！



その後、日本に移動してALT（外国語指導助手）になりました。富山県に2年と茨城県に6ヵ月間住みました。アメリカの大学では、主専攻だけでなく副専攻も勉強する大学生が多いです。自分の副専攻は中国語だったので、日本でのALTの仕事が終わってから中国の河南省で1年、上海で6ヵ月間勤めました。

最初に中国でコロナが発生した頃アメリカに帰国し、ロシア語とベトナム語の勉強を始めました。ロシア語はスペイン語に似ているため比較的簡単に勉強できますが、ベトナム語は本当に難しいです！自分のベトナム語はまだですが、特にベトナム語の南方言に興味を持っています。

私はこの素晴らしい機会を与えてくださった神様に本当に感謝しています。

日本語がもっと上達するよう一生懸命頑張ります！

ありがとう！



さんが2021年10月より国際交流員として働いています。  
日本語・スペイン語・中国語も堪能です。  
文化を紹介してくださいました。



## アメリカの多文化

アメリカには様々な背景をもつ多くの移民がいるので、継承語話者もたくさんいます！継承語話者とは、自分が住む国で使われている主要言語とは異なる言語を両親から継承していて、その言語や文化にある程度の知識を持つ人のことをいいます。しかし母語話者と比べて継承語話者は語彙が少なく、文法や文化的な知識などは比較的乏しいです。よって、彼らが生まれ育ち、教育を受けた国の言語が最も熟練した言語になります。例えば、ロシア人の両親から生まれ、日本で生まれ育った子どもの場合、家庭では少なくともロシア語を話し、学校では日本語で教育を受けるケースが多いかと思えます。

それにしても、継承語話者としても他の言語を話せるのは仕事に役に立ちますね。

以前の私の職場（アメリカの診療所）には、事務としてタイ語の継承語話者1人、ウクライナ語の継承語話者1人、スペイン語の継承語話者3人がおり、本当に国際的な場所でした！実際にアメリカには無数の多言語話者がいます。

2000年、アメリカ合衆国のヒスパニックの人口は3500万人以上でしたが、2020年には6200万人以上います！よって、アメリカでスペイン語を話す人口は全人口の約13%を占めます。それはスペイン語の継承語話者が増えているということだけでなく、スペイン語の学習者数も増えているからでしょう。それに伴い、スペイン語と英語の通訳の需要も高まっています。

ところで、外国語としてスペイン語を学ぶのは大変でしょうか？

実際にアメリカ人は英語母語話者として簡単にスペイン語も習得できます！それはなぜでしょうか？

英語はゲルマン語派であり、スペイン語はロマンス諸語であるので、この二つの言語はまったく違うのでしょうか？しかし1066年のノルマン征服の時に英語がロマンス諸語に大変影響を受けました！よって東アジアの言語と比較すると、これらの二つの言語は非常に似ています。

例えば、色は英語でcolorですがスペイン語でもcolorになります！病院は英語でhospitalですがスペイン語でもhospitalと言います。しかし発音が僅かに異なります。

### 色の発音：

英語：カラー

スペイン語：コロール

\*\*\*万国国際音標文字「IPA」の発音：

英語：[ˈkæl.ər]

スペイン語：[koˈlor]

ロシア語もスペイン語に似ている語彙があります！

### 月の発音：

ロシア語：ルーナ

スペイン語：ルーナ

\*\*\*万国国際音標文字「IPA」の発音：

ロシア語：[lʊˈna] スペイン語：[ˈlu.na]

ほとんどのアメリカの高校ではスペイン語を教えますが、スペイン語は非常に多くの国ごとの方言をもっています。では、学校ではどこの方言を教えるのでしょうか？

一般的には、ラテンアメリカのスペイン語を教えます！

私は大学3年生の時、スペインに留学し、本場のスペイン語を学びました。スペインのスペイン語はラテンアメリカのスペイン語と大きく異なりますが、スペイン語圏の多くの人は理解できます。

もし、自分の発音を改善したかったらお勧めはラジオを聴くことです！私はスペイン語のラジオを数回聞いた後、スペインのスペイン語を理解できました。それでは皆様頑張ってください！

## 日光市国際交流協会について

私たちは、国際交流、国際理解の向上を目指し、日光市の特性を生かした様々な市民レベルの交流活動を行っています。姉妹都市交流をはじめ、地元に住んでいながら、海外の文化、外国の方との交流、異文化体験をしてみませんか？お子様からご年配の方まで楽しんで学べるイベント、講座などを計画しています。ぜひ、お気軽にご参加ください。

### 年会費

個人会員：3,000円（満18歳になるまでは無料。  
ただし、4月1日生まれの者については、前年度を  
基準とする）

家族会員：5,000円

法人会員：10,000円

※会費の資格は毎年4月に自動更新されます。退会ご希望の方は翌年7月までにお申し出ください。

### 会員数（R4年1月1日現在）

個人会員：188人

家族会員：9家族

法人会員：43法人

### 日光市在住外国人数（R4年1月1日現在）

1,083人（ベトナム…337人、ネパール…142人、フィリピン…133人、中国…86人、韓国…63人）

### ボランティア登録について

当協会では下記ボランティアを随時募集しています。詳しい情報や登録を希望される方はHPをご覧ください。

#### ・ホストファミリー

海外からの短期訪問者を家族の一員として受け入れし  
てくださるご家族を募集しています。

#### ・日本語教師ボランティア

在住外国人向けの日本語教室にて、日本語を教えてい  
ただけるボランティアを募集しています。資格・経験は  
問いません。見学もできます。（原則第1、2、4木曜日、  
@市民活動支援センター）

#### ・国際理解推進員

日本人、外国人を問わず、国際理解や異文化教育（言  
語、文化、歴史、舞踊、料理、物づくりなど）に係わる  
講師をしてくださる方を募集しています。

#### ・翻訳・通訳ボランティア

当協会と日光市が発行する資料などの各種言語への  
翻訳や海外からの訪問者の通訳などにご協力いただ  
ける方を募集しています。特に、資格等は問いません。

## 今後の予定

5月17日(火) 18:00~  
令和4年度総会

詳しくは改めてご連絡いたします。

## 〈お知らせ〉

毎年行っている「中高生ラピッド市派遣事業」、隔年で行っ  
ている「市民訪問団派遣事業」は、新型コロナウイルス感  
染症の収束の目処が立たないため、令和4年度(2022年)  
は行いません。

派遣事業を楽しみにされていた皆様には大変申し訳ありま  
せんが、ご理解をいただきますようお願いいたします。

事務局  
連絡先

日光市国際交流協会事務局（日光市観光経済部観光課内）

TEL:0288-21-5196 FAX:0288-21-5121

〒321-1292 日光市今市本町1番地

ホームページ：<https://www.nikkocity.org/>

facebook ページを開設しました。 [日光市国際交流協会 Facebook](#) で検索！



LINE

★各種イベントの募集をはじめ、日光市国際交流協会のタイムリーな情報を発信しています。  
ぜひフォロー&チェックをお願いします！